

## 第5回 札幌開発建設部遊水地事業監理委員会 議事要旨

【開催日時】 平成24年7月13日（金） 15:20～17:10

【開催場所】 月形排水機場 会議室

【委員】 ◎加賀屋 誠一（北海道大学大学院工学研究院 教授）

黒木 幹男（（財）河川環境管理財団 北海道事務所 研究顧問）

鎌田 貢次（寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長）

松本源太郎（札幌大学経済学部経済学 教授）

※◎は、委員長（50音順） ※許士委員は欠席

### 【議 題】

#### 1. 審議事項

##### 《北村遊水地》

- (1) 工程管理について
- (2) 事業費管理について

##### 《千歳川遊水地群》

- (1) 工程管理について
- (2) 事業費管理について

#### 2. 総評

#### ★北村遊水地

##### 《工程管理について》

- ・北村遊水地事業を円滑に進めるためには、地域の理解を得ることが重要であり、十分な調整が必要である。
- ・北村遊水地は3市町村が関わっていることから、住民の移転等については岩見沢市の集住地への移転なども含め、関係自治体や住民の意向を十分に聞きながら、進める事が必要である。
- ・このような大規模な事業があると農地の構造が変化するため、農業再編等が円滑に進むように地元調整を行っていくことが大事。
- ・技術的に出来る出来ないだけでなく、社会的影響を踏まえた上で、今より良い生活環境が整備できるよう、きめ細やかな地元調整や対応が必要である。
- ・地内に水が入る頻度については、営農を考える上で重要な情報であることから、地元の方々に理解しやすい説明が必要である。
- ・暫定的に遊水地を使うことについては、様々な課題が考えられ地元対応も含めて整理が必要である。また暫定供用を視野に入れる場合には事業工程についても見直しが必要である。

《事業費管理について》

- ・石狩川本川の河道掘削土を盛土材として利用する計画となっているが、不良土の発生も想定されることから、土砂の流用計画について、コストを踏まえた定量的な整理が必要である。
- ・非常に軟弱な基盤であり状況に応じて対策工が必要となることも考えられることから、千歳川遊水地群での実績などを考慮し、事業費の精査を行っていく必要がある。

★千歳川遊水地群

《事業費管理について》

- ・遊水地事業だけでなく堤防に必要な土量も含めて、地内の掘削に関する全体像を整理しコスト管理に反映することが必要である。
- ・事業が進捗していく中で、様々なことが解りつつあるので、各工種の事業費管理の精度をさらに高めていく事が必要である。

《関連する留意すべき事項》

- ・遊水地の利活用については、どこをどう掘るかなど掘削の全体計画を地元を示した上で議論していかなければならない。
- ・今後の利活用については、ガバナンス（関係する機関が主体となり合意形成を得ること）方式で、出来ること出来ないことなどの情報を早い段階で示しながら、議論し調整していくことが大事である。